

■矢吹慶輝 浄土宗僧にして、近代社会事業の教育・行政の開拓者、宗教学者としても「三階教之研究」で学士院賞恩賜賞。

やぶきよしてゐる

沖縄県編入・1879＝ 福島県信夫郡上飯坂村(福島市)で、佐藤留七・センの次男に生まれる。幼名朝治。

明治14年政変1881＝ 2歳：

内閣発足・・1885＝ 6歳：同県伊達郡桑折村の_律院として名高い無能寺矢吹良慶の門に入り，

初の対等条約1888＝ 9歳：_得度し，矢吹良慶と養子縁組。

帝国憲法発布1889＝ 10歳：

足尾鉞毒始・1891＝ 12歳：桑折高等尋常小学校尋常科を優等表彰されて卒業。

郡司千島探検1893＝ 14歳：同高等科を卒業。

日清戦争始・1894＝ 15歳：慶輝と改める。浄土宗学尋常科(浄土宗学東北支校)に入学。
校長排斥ストライキの主謀の一人となり，停学処分，良慶に諭され以後参加せず。

八幡製鉄始・1897＝ 18歳：一時名古屋の愛知支校に転校，

子規句歌革新1898＝ 19歳：東北支校に復帰して，卒業。上京し，浄土宗高等学院正科に進む。

Bushidou・・1899＝ 20歳：矢吹良慶と協議離縁して佐藤姓に戻る。_増上寺で山下現有大僧正から受戒。

教科書疑獄・1902＝ 23歳：卒業し，浄土宗務所から帝国大学入学準備を命じられ，郁文館中学5年に編入，

日比谷公園・1903＝ 24歳：卒業し，第一高等学校文科に入学。

日露戦争終・1905＝ 26歳：浄土宗務所から浄土宗研究生を命じられる。

満鉄発足・・1906＝ 27歳：笹本戒浄と共編で「浄業慈訓」を刊行して，卒業。東京帝国大学文科大学哲学科に進む。律師となる。

韓国反日暴動1907＝ 28歳：_矢吹良慶の死去により，選定されて家督を相続。

伊藤博文暗殺1909＝ 30歳：首席で卒業し，大学院に進む。

韓国併合・・1910＝ 31歳：久世ミサホと結婚。*宗教大学教授となる。

大逆事件判決1911＝ 32歳：長女が誕生。「阿弥陀仏之研究」。_大僧都となる。

明治天皇没・1912＝ 33歳：准賛教，続いて嗣講となる。

大正政変・・1913＝ 34歳：恩師姉崎正治の助手として，_ハーバード大学およびマンチェスター=カレッジに留学，
この間，{宗教界}に「米国だより」を寄稿し続ける。

21ヶ条要求・1915＝ 36歳：_浄土宗外国留学生を命じられ，社会事業視察と西域発掘物調査のためヨーロッパ諸国を巡歴して，
この間，大英博物館で三階教に関する多くの資料を発見。

ロシア革命・1917＝ 38歳：*帰国。諸大学に先がけて宗教大学(のちに大正大学)に社会事業研究室を開設。以後，膨大な社会事業関係
の論説を発表しながら，率先して活動。

べルサイ条約・1919＝ 40歳：東京帝国大学文科大学講師，内務省社会事業職員養成所講師，賛教。財団法人{啓明会}の補助を受け，_大
英博物館所蔵スタイン蒐集中国古写本の研究に従事し始める。

大暴落・・・1920＝ 41歳：東京高等師範講師。

原敬首相暗殺1921＝ 42歳：

水平社結成・1922＝ 43歳：次女が誕生。_就労児童教育機関{三輪学院}を創設し院長となる。東大より宗教運動の調査を囑託され再度
欧，この間，大英博物館で中国古写本調査し本邦未伝の古写本の写真多数を将来。

関東大震災・1923＝ 44歳：「三階教之研究」により文学博士号授与されるも，震災で稿本焼失。

護憲三派圧勝1924＝ 45歳：東大文学部助教授，准司教。_皇太子(昭和天皇)に労働者の思想問題について進講。

治安維持法・1925＝ 46歳：助教授を依願退職し，*東京市社会局長に就任，草創期の東京府・市社会事業の基礎づくりをする。再度書
き上げた「三階教之研究」により，帝国学士院賞恩賜賞を受ける。

円本時代始・1926＝ 47歳：長男が誕生。妻が死去。東京市社会局長を依願退職し，大正大学教授。以後は，社会事業の顧問役。

金融恐慌・・1927＝ 48歳：法政大学文学部講師。翌年にかけて秩父宮に進講。_「三階教之研究」刊行し，各界より高評価。

世界恐慌・・1929＝ 50歳：東洋大学文学部教授。_権僧正。

海軍軍縮条約1930＝ 51歳：日本宗教学会創立に参加。

満州事変・・1931＝ 52歳：平島シズエと再婚。日本宗教平和会議第一部会長。「鳴沙余韻」。

五一五事件・1932＝ 53歳：次男が誕生。台湾・朝鮮総督府の招請で社会事業指導に出向。

国際連盟脱退1933＝ 54歳：岩波講座{世界思潮}の第8冊「法然上人」。「鳴沙余韻解説」「思想の動向と仏教」。

帝人疑獄事件1934＝ 55歳：_以後没するまで大正大学学部長。内務省の社会事業調査会委員。

芥川直木賞始1935＝ 56歳：文部省の宗教教育協議会委員。

二二六事件・1936＝ 57歳：_突然狭心症の発作を起こし重態となるも，奇跡的に蘇生。「現代人の仏教」。

日中戦争始・1937＝ 58歳：大本山増上寺教監。東京で開催の世界教育会議で講演。満州国招請で社会事業指導に出向。

健保+総動員1938＝ 59歳：内閣の中央社会事業委員会委員。

第二次大戦始1939＝ 60歳：狭心症で_没した。
没後にも，多くの著作が刊行される。